

# jus研究会札幌大会



#UNIX歴史講座 #osc18do



法林 浩之



@hourin

- 日本UNIXユーザ会 幹事 (元会長)
  - さまざまなコミュニティとイベントを開催
  - 全国各地のイベントで研究会を開催
- フリーランスエンジニア
  - 最近はさくらインターネットの仕事が多い
  - TechLIONなど多彩なイベントを開催
- くわしくは「法林浩之」で検索

# 日本UNIXユーザ会 (jus)



[ホーム](#) [About jus](#) [入会/更新案内](#) [イベント情報](#) [運用研究会](#) [活動履歴](#) [会員ページ](#)

JAPAN UNIX SOCIETY SINCE  
1983

[ABOUT JUS](#)

1983年設立  
日本におけるUNIXや  
OSSコミュニティの草分け

**jus** JAPAN UNIX SOCIETY NEWS LETTER  
*/etc/wall*

1999 vol.4

jusの会報

主に活動報告を掲載

jus幹事が編集

設立当初から現在に至るまで継続

# 試合に至る経緯

- 昔の/etc/wallは紙媒体 (現在はPDF)
- jus事務局に眠る古文書の電子化を推進中
- 作業中に/etc/wallがほぼ全部発掘され電子化
- /etc/wallに書かれた活動記録を紹介することで、  
当時のUNIX業界やIT業界の状況を伝えたい
- 35年分を一度に紹介するのは無理なので、  
各回ごとに5年ぐらいの範囲を設けて紹介

# おことわり

- 今日の内容は当時のIT業界のごく一部
- jusの活動記録から見た当時の状況説明
- jusの活動範囲外の出来事は載っていない
- NGワード：あの出来事が載っていない

平成生まれのための

UNIX&IT歴史講座

当時のことを知らない  
人たちのための  
UNIX&IT歴史講座



# 昭和生まれの皆さんへ

私も知らないことが  
たくさん出てくるので、  
昭和生まれの皆さんに質問したり  
証言をお願いすることがあります。  
わかる範囲でご協力ください。

今回の対象時期

2000年代後半

2005-2009年の  
/etc/wallから紹介

# Lightweight Language Weekend 報告

法林浩之

主催 Light Language Weekend 実行委員会

日時 2004 年 8 月 7 日 (土) 10:00~16:40

8 月 8 日 (日) 10:00~16:30

会場 日本電子専門学校 9 号館メディアセンター

2003 年 8 月に開催された Lightweight Language Saturday は、日本初の軽量プログラミング言語に関するイベントとして大変好評を博しました。そこで今回は 2 日間に規模を拡大し、Lightweight Language Weekend(通称: LL Weekend) というタイトルで開催しました。真夏の暑い日であるにも関わらず、参加者とスタッフ合わせて総勢約 300 人が集う大イベントとなりました。

## LL Weekend (2004年8月)

# LLイベント

- それまでの主流プログラミング言語(CやJavaなど)に比べて、手軽に書けて生産性の高い言語を Lightweight Language (LL) と称する動きが発生
- LLに関するイベントを2003年から開始
- 当初の参加言語：Perl, PHP, Ruby, Python
- LLがトレンドみたいになり、多くの言語が参戦
- 現在はLLがトレンドではなくなったので、昨年からはLLをLearn Languagesと改めてイベントを継続
- 今年のLLイベントは8/26(日)に開催予定
- 詳細：<https://ll.jus.or.jp/>

## ◇ LL を仕事に

LL を「商売道具」として堂々と胸を張ってを使うためにはどうすればよいかを議論するセッションです。このセッションでは事前にアンケートを取り、その結果を提示しながら参加者が自由に発言する形式で進行了ました。アンケートの設問は以下の4つです。

Q1. あなたは LL を仕事にしたいと思いますか？

Q2. 実際に LL を仕事にしていますか？

Q3. LL を仕事にすることについての悩みや苦勞、あるいは LL を仕事にできない理由がありましたら、できるだけ具体的にお書きください。

Q4. LL を仕事にすることについて参加者の皆さんに聞いてみたいことがありましたら、お書きください。

2004年当時は、LL(特にRubyとPython)を業務で使うことは一般的でなかった

## ◇ LL と blog

日本における blog の第一人者の方々にお集まりいただいて、LL と blog とについて議論していただきました。発表者は以下の方々です。

- はてなダイアリー：近藤淳也 (はてな)
- COREblog：柴田淳 (日本 Python ユーザ会/ウェブコア)
- tDiary：ただただし (tDiary)
- Nucleus：樋口理
- Movable Type：ひらただいじ (シックス・アパート)
- Bulkfeeds：宮川達彦 (ライブドア)
- 司会：小山哲志 (日本 PHP ユーザ会)

この頃からブログが流行し、LLが使われる  
WordPressはまだ普及していない

# Web & Internet Application Day 報告

波田野裕一

日時 2004年12月3日(金) 10:00~17:00

会場 パシフィコ横浜 301 会議室

jus では、2004年12月3日 Internet Week 2005 のプログラムとして、“Web & Internet Application Day” を開催しました。2003年まで3度開催した BSD/Linux Day が主に OS や OS 上のアプリケーションをターゲットとしていたのに対し、今回は Web サービス上のアプリケーションをターゲットとして、“Blog”、“Wiki”、“SNS” の3つをテーマにそれぞれセッションを行ないました。

## Web & Internet Application Day (2004年12月)

### セッション3: SNS (ChairPerson: 砂原秀樹(奈良先端大))

- wawawa 吉村圭太郎(日本ビジネスシステムズ)
- mixi 笠原健治(イー・マーキュリー)
- キヌガサ 上田澄博(paperboy&co.)
- GREE 田中良和
- recommuni 竹中直純(digitiminimi)

この年あたりからSNSが流行  
mixiとグリーの社長対決が実現  
Twitter, Instagramはまだない



## ◇フレームワーク対決

LL による WEB フレームワークについて発表していただきました。発表していただいたフレームワークと発表者は以下の通りです。

- Sledge : 池邊智洋 (ライブドア)
- Ruby on Rails : 高橋征義 (日本 Ruby の会)
- Kahua : 柴田知久 (タイムインターメディア)

いずれも言語の特徴を色濃く反映してるフレームワークで、それぞれ、Sledge は Perl, Rails は Ruby, Kahua は Gauche で実装されています。発表にはデモも含まれ、実

LL Day and Night (2005年8月)  
フレームワーク対決にRuby on Railsが登場

## ◎キミならどう書く

与えられた課題についてフレームワークを使い、事前にプログラミングしていただき、その成果物について発表していただきました。課題は「費目にタグを付けられる家計簿」です。発表していただいたフレームワーク、言語、発表者は以下の通りです。

- Django(Python) : 露木 誠 (Django と日本の仲間たち), 徳嶋和敬 (Django と日本の仲間たち)
- Kahua(Gauche) : 伊東勝利 (タイムインターメディア), 備前達矢 (Kahua プロジェクト)
- Ruby on Rails(Ruby) : かずひこ (ネットワーク応用通信研究所), secondlife(はてな), 鈴木美保 (ツインスパーク)
- Ethna(PHP) : 藤本真樹 (グリー), 鶴岡直也 (サイボウズラボ)

LL Ring(2006年8月)でも  
フレームワークを使った課題を実施

# Enjoy! Mobility Day! 報告

法林浩之

日時 2005年12月6日(火) 10:00-17:00

場所 パシフィコ横浜 301 会議室

jus は毎年、JPNIC 主催の「Internet Week」でイベントを開催していますが、今年は「Enjoy! Mobility Day!」と題して、モバイルコンピューティング、とりわけ携帯

## Enjoy! Mobility Day (2005年12月)

# Enjoy! Mobility Dayのプログラム

- モバイルUpdate
  - 携帯電話端末の進歩、定額制サービスなどが話題
  - iPhoneもAndroidもまだない
- ブロードバンドモバイル通信基盤
  - 公衆無線LAN、WiMAXなどが話題
  - LTEはまだない (当時は3G回線)
- フルブラウザ
  - 通常のHTMLを解釈して表示するブラウザ
  - 当時の携帯電話端末は簡易HTMLのみ表示
  - レスポンシブデザインの登場は2010年代以降

# Web2.0 ワークショップ報告

法林浩之

日時 2006年12月6日(水) 9:45-17:30

会場 パシフィコ横浜 502 会議室

jus は今年も JPNIC 主催の「Internet Week」に参加しました。Internet Week では毎年異なるテーマを取り上げてイベントを開催していますが、今回は近年目覚ましい進歩を遂げている Web 関連の技術に着目し、その分野で活躍されている方々に講演していただく「Web2.0 ワークショップ」を開催しました。参加者は 145 人でし

## Web2.0 ワークショップ (2006年12月)

# Web2.0ワークショップ

- Web 2.0
  - SNSや検索エンジンの普及によりWebが新時代に入ったことを表す言葉
  - 多くの「○○ 2.0」を生むほどの流行語になった
- 主なセッション
  - (クラウドではなくWebサービスとしての)AWS、仮想サーバ、位置情報、動画配信サービスなど
- Web 2.0はすぐに死語になったが、この頃に出てきたサービスや技術は今もよく使われているものが多い
  - Googleマップ、YouTubeなど
  - Googleマップに使われたAjaxという技術のおかげでJavaScriptが一躍重要な言語に

## jus 研究会 JAPAN TOUR 2007 札幌大会報告

講師: 南弘征 (北海道大学)

司会: 法林浩之 (日本 UNIX ユーザ会)

日時: 2007 年 6 月 30 日 (土) 13:35-14:20

会場: 北海道大学 学術交流会館 第 4 会議室

報告者: 法林浩之

その JAPAN TOUR の初回となる札幌大会は「オープンソースカンファレンス 2007 Hokkaido」の中で開催しました。講師には北海道大学の南さんをお迎えし、IT 技術の移り変わりや現代の若い技術者たちについてのトークを繰り広げました。参加者は 24 人でした。

# jus研究会の全国ツアー開始 (2007年6月)

# jus研究会

- jus設立当初から関西や東海で定期的に行なわれていた
- 担当幹事の多忙などにより継続が困難になったため発展的に解消
- 2007年にjus設立25周年記念企画としてJAPAN TOURを行なう (全国10か所)
  - 札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、香川、広島、福岡、沖縄
- その後もOSCの全国展開に乗る形で各地での開催を継続し、現在に至る
- そしてこの頃から地域ITコミュニティが活発化し、日本全国で勉強会がさかんになる



## IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォース への参加について

jus は総務省およびテレコム/インターネット関連 13 団体 (発足当初、現在は総務省+17 団体) により IPv4 アドレスの枯渇問題にいち早く対応する目的で設立された「IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォース」へ 2008 年 9 月より参加し、その活動への協力を行っています。本誌の

IPv4 アドレス枯渇対応  
タスクフォースへの参加  
(2008 年 9 月)

# IPv4アドレス枯渇問題

- IPv4アドレスの総数は約43億個 (世界人口より少ない)
- インターネットが世界中に普及するにつれ、  
割当可能なIPv4アドレスが枯渇する問題が発生
- 日本における枯渇問題への対応を進めるために  
タスクフォースが設立され、jusも参加
  - OSSやWeb開発コミュニティとの連携を期待された
- 発足から10年が経過
  - IPv4アドレスは世界的に枯渇 (自由にはもらえない)
  - IPv6の普及が進みつつある
    - [https://blog.nic.ad.jp/blog/june6\\_ipv6](https://blog.nic.ad.jp/blog/june6_ipv6)
- 詳細 : <http://kokatsu.jp/>

関西オープンソース 2008 +  
関西コミュニティ大決戦 報告  
法林浩之

日時 2008年11月7日(金) 13:00~18:00  
2008年11月8日(土) 10:00~18:00

会場 大阪南港 ATC ITM 棟 6F マーレギャラリー  
ほか

2008年11月7日(金)~8日(土)の2日間、関西オープンフォーラムの主催による「関西オープンソース 2008 + 関西コミュニティ大決戦」(KOF2008)が開催され、jus

関西オープンソース + 関西コミュニティ大決戦  
(現：関西オープンフォーラム) (2008年11月)

## ◇同時開催イベント

KOF ではほぼ毎年、特定のコミュニティにユーザ企画や展示の枠をまとめて提供し、同時開催イベントという形で開催していただいています。過去には BSD Conference や Linux Conference などが行われてきたのですが、今年 は Ruby コミュニティが主催する「関西 Ruby 会議 01」が同時開催されました。内容としては他のコミュニティと同様の展示やユーザ企画に加えて、PC 教室を使った Ruby プログラミングのハンズオンセミナーや、ジュンク堂書店による書籍の出張販売も行われました。

同時開催イベントとして  
関西Ruby会議が開催される

# 各言語コミュニティの活性化

- LL系の各言語ごとのカンファレンスが始まる
  - PHPカンファレンス：2000年開始
  - (LLイベント：2003年開始)
  - 日本Ruby会議：2006年開始
  - YAPC::Asia Tokyo：2006年開始
  - PyCon JP：2011年開始
- Rubyは地域Ruby会議もさかんに行われる
  - 関西Ruby会議はその1つ
- 現在も各言語のカンファレンスは多数開催

# Internet Week 2008 報告

高野光弘

\*\*\* IT Community Impact 〜世界を変える新たな潮流〜 \*\*\*

日時: 2008年11月25日(火) 9:30-17:00

場所: 秋葉原コンベンションホール 5階 Room5A

IT Community Impact ではITコミュニティのイベントや勉強会についての話題を中心に以下の4セッションが行われました。

IT Community Impact !  
@ Internet Week 2008 (2008年11月)

## 1)ITコミュニティイベントの概要

### 講演者：

jus勉強会： 法林 浩之/日本UNIXユーザ会(jus)

カーネル読書会： 吉岡 弘隆(よしおかひろたか)/ミラクル・リナックス株式会社

オープンソースカンファレンス： 宮原 徹/オープンソースカンファレンス運営事務局

IT勉強会カレンダー： hanazukin(やまぐちあゆみ)/まっちゃん139勉強会

**内容**：現在の状況について議論をする前に、一度歴史を振り返り、経緯を俯瞰的に眺めてみたいと思います。そのために、古くからコミュニティイベントを企画・開催してきた方々や、現状に大きく影響を与えた方々をお呼びして、コミュニティイベントにかける思いなどを語っていただきます。



法林 浩之



吉岡 弘隆



宮原 徹



hanazukin

<https://www.nic.ad.jp/iw2008/popup/51.html>

IT勉強会カレンダーの作成により、  
勉強会が多数開催されていることが可視化される

## 2)パネルディスカッション「地域コミュニティ」

### 講演者：

北海道LOCAL：澤田 周/LOCAL/株式会社サイクル・オブ・フィフス

日本PostgreSQLユーザ会 九州支部：清末 直

KOF(関西オープンソース+関西コミュニティ大決戦)：安田 豊

toRuby：池澤 一廣/toRuby(とるびい/とちぎRuby)

内容：ITコミュニティが活発なのは、なにも首都圏だけではありません。日本全国でさまざまな地域の方々が、それぞれの特色を生かして積極的に活動していらっしゃいます。ここでは実際に地域で活動してる方々をお呼びして、それぞれの特色を語っていただきます。



澤田 周



清末 直



安田 豊



池澤 一廣

<https://www.nic.ad.jp/iw2008/popup/51.html>

# 北海道ではLOCALが設立される (2008年)



## 横断的地域型OSS等支援啓蒙組織 設立趣意

2008/1/1 澤田 周 (luna at lunanet.gr.jp)

私は、北海道および全国的なOSSの状況を踏まえ、OSSおよび周辺技術を普及啓蒙する横断的な組織の設立を提案します。

GoDo, OSCといった一連のイベントにより、北海道でもOSSに関するある程度の規模のイベントを定期的で開催する土壌が育ってきていると言えます。これは、開催者、参加者の双方に言えます。

しかしながら、現状は年に1度の「打ち上げ花火」としてのOSCがあるのみであり、継続的なコミュニティ活動が盛んに行われているとは言い難い状況にあります。こういったイベントは、定期的に継続して開催することで意味が増すのではないのでしょうか。

コミュニティの面々が顔を合わせ、継続して普及啓蒙活動、交流活動を行う。東京では当たり前に行われていることが、なぜ地方では出来ないのでしょうか。

<https://www.local.or.jp/about/philosophy>

# LOCAL設立趣意 (2008年)

### 3)運営をサポートするツール紹介

#### 講演者：

エンジニアの未来サミット： 馮富久(ふおんとみひさ)/株式会社技術評論社

OSC 出展者受付ツールについて： 宮原 徹/オープンソースカンファレンス運営事務局

ATND (atnd.org)： 川崎 有亮/株式会社リクルート

コミュニティでの動画配信の広がり、それらをささえるツール： 荻原 一平/KaigiFreaks/日本PHPユーザ会

内容：コミュニティイベントが大きく発展しているのは、運営をサポートするツールやサービスによるところも大きいです。このセッションではそのツールやサービスに焦点を当てた発表を行います。



馮富久



宮原 徹



川崎 有亮



荻原 一平

<https://www.nic.ad.jp/iw2008/popup/51.html>

## イベント運営管理サービスATND開始 (2008年)

connpassもDoorkeeperもまだない  
(connpass：2011年、Doorkeeper：2010年)

**\*\*\* HTTP Meeting 2008 ～Web サービスの明日を  
見つめよう～ \*\*\***

**日時: 2008年11月26日(水) 9:30-17:00**

**場所: 秋葉原コンベンションホール 2階 ホール A**

HTTP Meeting では Web 関連の話題を中心に以下の  
セッションが行われました。

**HTTP Meeting  
@ Internet Week 2008 (2008年11月)  
Web関連の技術を総覧するイベント**

# HTTP Meetingのプログラム

- Web関連技術の最新動向

Webサーバ / データベース / 冗長化技術 /  
フレームワーク / プログラミング言語(サーバ側) /  
Webプログラミング言語 / Web制作技術 /  
Rich Internet Application / OpenID / ミニブログ

- ミニブログはまだ群雄割拠時代 (Twitter一強ではない)

- キャリアグレードNAT

- 当時は導入検討中の技術、現在は実際に利用

- パネルディスカッション 「memcached」

- パネルディスカッション 「ブラウザ」

- Firefox, Opera, IE

- Chromeはまだない (2008年12月初版正式公開)

# 2000年代後半のまとめ(1)

- 携帯端末や通信環境の進歩
  - スマートフォンの登場 (普及はもう少し後)
  - WiFiや携帯回線の拡充
  - 端末増加に伴うIPv4アドレス枯渇問題の顕在化
- 通信がすべてHTTPに集約される方向に
  - IPの上にHTTPがあり、HTTP上の通信ですべて実現できる
  - この年代にいろいろなWebサービスが出てきた

# イベントを終えて思ったこと

---

- 昔はいろんなアプリケーションがありました
  - メール, NetNews, Web, ftp, ストリーミング, IRC, whois, finger, archie, etc,...
- それぞれのアプリケーションにプロトコルとサーバとクライアントがあった
- この10年の間に淘汰が進んでHTTPとWebインターフェースに統合されつつある気がする
- 結果として「インターネット」というインフラの上に「Web」というもうひとつのインフラが形成され、Webへの情報集約とユーザの依存がみられる

インターネットフォーラム・ジャパン  
@ Internet Week 2006 における  
Web2.0ワークショップの報告資料より

# 2000年代後半のまとめ(2)

- Webサービス開発がさかんになる
  - フレームワークを用いた開発手法の確立
  - 開発言語としてのLLの台頭 (LLの業務利用拡大)
  - LLイベントおよび各言語コミュニティの拡大
- コミュニティ文化の確立
  - 勉強会の爆発的開催
  - 地域ITコミュニティの発展
  - コミュニティを支える各種サービスの登場

# 今後の予定

8/4(土) OSC京都  
2010年代前半編

その後も各地で  
開催予定



ありがとうございました



つづきは懇親会で！